



公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
プロジェクト未来遺産2011

稲生川開削と三本木原開拓の志を活かし、  
共創郷土の伝統を未来に

十和田市立新渡戸記念館・十和田市教育委員会 共催 Kyosokyodo(共創郷土)協力

# 新渡戸稲造生誕 150 年記念 講演会

## 平成 24 年度 新渡戸塾 第 2 講座



### 今、改めて学びたい新渡戸稲造のおしえ

新渡戸稲造研究の第一人者・佐藤全弘先生に  
今私たちが学ぶべき稲造の知恵をお話いただきます



【講師プロフィール】 昭和 6 年大阪市に生まれる。大阪市立大学文学部卒。同大学助教授、教授。1994 年定年退官後、同大学名誉教授。同年、関西外国語大学教授、2002 年退職。キリスト教愛真高校理事長。なにわ聖書研究会主宰。2009 年新渡戸・南原賞受賞。カント哲学を中心とした西洋哲学全般を講じるとともに、倫理学、医の倫理、環境倫理、人権問題など幅広く講義する。おもな著書に『カント歴史哲学の研究』『新渡戸稲造—生涯と思想—』『新渡戸稲造の信仰と理想』『新渡戸稲造の世界』訳書『武士道—日本の心—』(新渡戸稲造 著)ほか多数。『新渡戸稲造全集』(全 23 巻別巻 2 巻)の編集委員であり、新渡戸稲造研究の第一人者である。

講師： 大阪市立大学名誉教授 佐藤 <sup>まさひろ</sup> 全弘 先生

日時：平成 24 年 10 月 28 日(日) 18:00~19:30

場所：十和田市民文化センター(十和田市西三番町2-1)

視聴覚ホール (定員 300 名) ※聴講無料

#### — ご講演要旨 —

- I. はじめに
- II. 史上最大の地震・津波、史上初の大原発災
  1. 貞観 11 (869 年) マグニチュード 8.3
  2. 明治 29 (1896 年) 8.25 (死・不明 21959 人)
  3. 昭和 8 (1933 年) 8.1 (3008 人)
  4. 平成 23 (2011 年) 9.0 (22941 人 6 月 23 日)
- III. 東北地方への冷遇
  1. 今回の震災の名称…<東北関東大震災>から<東日本大震災>へ
  2. 飢饉 3. 兵役 4. 労働力源…1960—69 年、高度成長
  5. 原発…福島県第 1+第 2 で 10 基、1 億 0976 万 k w (福井 13 基で 7615 万 k w)
- IV. 新渡戸稲造の東北観…『編集余録』から
  1. 1931.2.15 の「雪害」
  2. 1931.5.31 の「北国の人材の収穫」
  3. 1933.5.25 の「東北日本」
- V. 新渡戸の尊重する<日常の徳>…『世渡りの道』、『編集余録』から
  1. 正直、親切、思いやりの実行…万国共通
  2. 愛国心や忠義などは二次的義務
  3. 東北の民芸に見る<日常の徳>の現われ (柳宗悦)  
…無心・無欲 (正直)、丈夫・健康 (親切)、使う人の為 (思いやり)
- VI. <日常の徳>こそ日本復興の基
  1. 震災・原発の事実の正直な原因究明
  2. 東北の独自性を尊ぶ復興
  3. 復興は新文化の創造たるべし
- VII. 結び
  1. 現代日本の悪の曝露と根絶 2. 人間の有限の自覚、資源の有限の心得
  3. <日常三徳>に基づく生活の方向転換 4. 東北こそ、日本復興のさきがけとなる資格あり

「光は東北から—日本復興のさきがけ—」